

どうした谷川女史。「4日目」のタイトル浮かばなかったのか？

タイトルはこんな感じかな。「12G着々と業務遂行！しかし内乱勃発、消えた櫛部氏！」
なんて！

タイトル「村山談話に継ぐ竹鼻談話に一同感動！（しかし、いい話はカットか！）」

さてさて、前日の予告どおり、宮古市について少し紹介致します。宮古市は本州最東端にある「鮭ヶ崎」がある、面積 1,259.89 k m²、人口 58,917 人の漁業の町である。



市内からひときわ目立つ煙突の高さ。市内のどこからでも確認できる。戦前からの銅の精錬所のものである。（当時、煙害を拡散させるためだろうか。現在は使われていない。）

☆ 12グループ報告＝6月30日（木）活動5日目

昨日のシャツ事件により 12Gの雰囲気は悪化していた。（事務所では言葉少なく、あの竹鼻氏も事態の收拾に、一人バイクで外へ出る。サボリではなく現地確認である。バイク部隊が板についてきた竹鼻氏は、最近バイクがお気に入り。帯広のみんな信じてね。）



ポスティングも着実にこなす。(選〇活動で鍛えた私たちにとっては、「お安い御用!」、しかしこちらでは、あまり通じない。「まがせどげ!」「いいでば!」と言うらしい。

(画像紛失。すみません 11Gのみなさん画像借ります。)



昼食のおにぎり弁当は、やっとおかずらしいオカズ。(フライだった。青柳主幹?の機嫌も直る。しかしおにぎりは当分見たくない(冗)。画像無し)



引き波にもっていかれる防波壁。ここは船越地区。船越半島は一時津波で離れ小島になる被害を受けたところである。

被害調査中の青柳氏。(どれほどの水圧が掛ったのか。)



笑いながらもお疲れのようすの鈴木参謀。 全道庁後志・鈴木委員長の工程表で仕事は確実に進んでいます。(後志の皆さん、地元の仕事は大丈夫ですか?)



仮設住宅でもいろいろなタイプ。初期のものは本当に現場のプレハブを少し良くした感じ。最近のものは長屋住宅のようで良く見える。



←最近のものです。

着々と復興へ向かっている。「なかよし公園商店街」の様子。



ガレキ処理も進んでいる。しかし一望すると言葉が出ない。



事務処理も着々と進んでいる。



佐藤（左から二番目）・岸本（一番右）ペア。（消えたはずの櫛部氏（右から二番目）は、あれ一っ居る！ 仕事してますよー。）

※ 北広島市職の方、岸本さんの新聞記事を道本部へ送付願います。（老眼の3人と、老眼に成りつつある1人では、携帯画面の新聞記事は見えません）

「竹鼻談話ここにあり！」

今回 12Gとして被災地に入り、いろいろな業務をする過程で、



「信号機は今も機能していない箇所がまだまだたくさんある。交差点のマナーは、みんながお互いに譲り合う、日本人特有のやさしさ・思いやりの心を持っていることを改めて知りえたことに、私はすごく感動している。」（全道庁十勝・竹鼻委員長の突然の発言に、一同深い感銘を受けたのである。帯広のみんな信じてね。）

※ 11Gからの引継ぎ事項。夜の経済支援については「浜ゆう」「STARS」に行ってきました。（岩ガキ売切れに竹花氏消沈。雑食系の青柳はマンボウを食べる。その後「STARS」では、なぜかアニメソングからはじまる。誰？）震災から100日を越え、最近になってようやく、「夜の経済支援」と言えるような雰囲気になったそうです。